3年の時の男女混合全裸身体検査

だいぶ昔の話だけど、俺の中学時代の時の身体検査、特に3年生の時は、俺の人生で一番忘れられない出来事だ。クラスの女子たちがおっぱいを丸出しにしていく光景、俺のおちんちんを見て悲鳴を上げたりドン引きしたり笑ったりする彼女たちの反応――あの異様な空気

は、今でも鮮明に思い出せる。

その時の話。5時間目の授業が終わると、担任の佐藤先生が教卓に立った。「はい、みんな、身体検査の時間です。準備してください。」その瞬間、男子の間で「キター！」と小さく歓声が上がった。俺は隣の佐々木健太と目を合わせ、「今年もあの時間が来たぜ！」とニヤリ。健太は「やばいな、絶対

見逃せねえ！」と拳を握った。一方、女子たちはざわつき、川中美月が「うそ、今年もパンツ一枚？　やだ…」と呟き、鈴木美咲が「もう慣れたでしょ、美月。さっさとやっちゃおう」と肩を叩いた。

心臓がバクバクしてた。1年生の時の身体検査――全員がパンツ一枚で保健室まで移動する光景――は衝撃だった。男子には年に一度の「特別な日」、女子には羞

恥の極み。佐藤先生が続けた。「全員、立って。制服を脱いで、パンツ一枚になってください。女子はブラジャーも外して。」

教室が一瞬静まり、男子が立ち上がった。俺はシャツを脱ぎながら、チラリと後ろを見ると、美月が顔を真っ赤にしてスカートを握りしめてた。美咲は淡々と制服を脱ぎ、ブラジャーを外すと、両手でおっぱいを隠した。